

戦いのキセキ〜全国大会2016〜

丹生高校 女子ホッケー部

平成28年度全国高等学校総合体育大会のホッケー1競技が、7月30日から8月3日までの5日間、鳥取県で開かれました。大会では男子28校、女子20校が高校日本一をかけて熱戦を繰り広げました。

丹生高校女子は、2回戦で福岡県玄界高校と対戦し5対0、準々決勝で奈良県天理高校と対戦し2対0で勝利し、準決勝に進出しました。

準決勝では、岩手県不來方高校と対戦。両校とも激しく攻め合うも、なかなか得点に結びつけることができませんでしたが、前半16分に丹生高校が先制点を取りました。しかし、終了間際に同点に追いつかれ、試合はシュートアウト戦にもつれ込みました。シュートアウト戦は、1対0で制し、決勝戦に進出しました。

決勝戦では、岐阜県各務野高校と対戦。序盤からお互い譲らない戦いを繰り広げ、一進一退の攻防が続く0対0のまま前半が終了しました。後半もなかなか得点できませんでしたが、後半20分に一瞬の隙を突き、小林久留海選手が得点しました。各務野高校も何度も攻撃を仕掛けてますが、丹生高校の粘り強い守りで試合終了。「攻める守り」で39年ぶり5度目の優勝に輝きました。

39年ぶり5度目の優勝

大会結果

- 2回戦 丹生 5 - 0 玄界 (福岡県)
- 準々決勝 丹生 2 - 0 天理 (奈良県)
- 準決勝 丹生 1 - 1 不來方 (岩手県)
(SO 1 - 0)
- 決勝 丹生 1 - 0 各務野 (岐阜県)

よしかわ ひかり
チームキャプテン 吉川 光さん
地元のみなさんの応援のおかげで、「日本一」を取ることができました。全員で勝ち取った金メダルです。応援ありがとうございました。次の国体予選でも、福井県代表として感謝の気持ちを忘れず頑張ります。

うしわか はるか
ゲームキャプテン 牛若 晴馨さん
4月から練習してきた忠実なプレーで、1人目がかわされても、2人目、3人目できっちり守り、どの試合でも丹生の「粘り強さ」と、「明るく元気」なプレースタイルを貫き、戦うことができました。今後は、国体予選に向けて気持ちを切りかえて、国体に出場できるよう練習に励みます。



▲表彰式の様子

よしだ よしかつ
監督 吉田 能克 先生

この大会で、チームのモットーである「明るく・元気に・笑顔で・粘り強く」を選手たちがプレーや応援で表してくれたことが、39年ぶりの優勝につながりました。また、部員23人がチームとして日本一を目指し、準備することで結束できました。今後は、日本一に満足することなく、勝ち続けられるチーム、多くの人から応援されるチームを目指して練習していきます。

明るく・元気に・
笑顔で・粘り強く

丹生高校 男子ホッケー部

丹生高校男子は、1回戦で神奈川県慶應義塾高校と対戦し5対0、2回戦で大阪府夕陽丘高校と対戦し6対0、準々決勝で山梨県山梨学院高校と対戦し3対1で勝利し、準決勝に進出しました。

準決勝では、岐阜県岐阜総合学園高校と対戦。両校の体を張った激しい攻防が続きますが、得点には至らず、両校とも無得点のまま前半が終了。後半も序盤からせめぎ合いが続く中、岐阜総合高校に先制され、その後ペナルティコーナーを獲得するも得点に結びつかず、0対1で惜敗し、3位入賞を果たしました。

大会結果

- 1回戦 丹生 5 - 0 慶應義塾 (神奈川県)
- 2回戦 丹生 6 - 0 夕陽丘 (大阪府)
- 準々決勝 丹生 3 - 1 山梨学院 (山梨県)
- 準決勝 丹生 0 - 1 岐阜総合 (岐阜県)

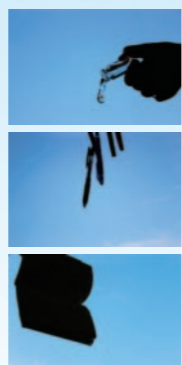


丹生高校写真部

第40回全国高等学校総合文化祭

写真部門には、事前に公募と審査が行われる「全国展」があり、各都道府県で選ばれた約300点の作品の中から、最優秀賞3点、優秀賞7点が選ばれます。丹生高校写真部の小原京華さんの作品「free fall」は、優秀賞に選ばれました。

小原さんの作品は3枚の組写真で、「自由はしばられた中に存在する」ことを表現しているそうです。



小原さんの作品「free fall」

第23回全国高等学校写真選手権大会

写真甲子園本戦には、全国527校の中から勝ち上がってきた19校(3人チーム)が出場しました。大会中は、3日間それぞれ違うテーマに沿って北海道の様々な場所を撮影し、審査員の前でプレゼンを行い、その技術を競い合いました。

大会の結果は敢闘賞で、上位に入賞することはできませんでしたが、今回の写真甲子園で学んだことを活かし、来年も本戦出場を目指します。



写真甲子園に出場した小原さん(左)、酒井さん(中央)、渡辺さん(右)

敦賀高校剣道部 小河萌香さん

高校最後のインターハイに臨んだ小河萌香さんは、女子団体戦予選リーグで三重県鈴鹿高校、滋賀県草津東高校と対戦しました。小河さんは、鈴鹿高校戦の先鋒として出場し、「己に勝つ」を目標に延長戦まで闘いましたが引き分けとなりました。



小河さん:「自分の剣道を最後までする事ができ、満足のいく試合ができました。」

Echizen HOMES₂ ホッケースポーツ少年団

8月5日から8日まで、埼玉県で第38回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会が開かれ、全国から男子27チーム、女子21チームが参加しました。越前町からは、朝日・常磐・糸生・Echizen HOMES₂ホッケースポーツ少年団の男女合わせて7チームが出場しました。

そのうち、Echizen HOMES₂ホッケースポーツ少年団(女子)が決勝に進みました。決勝戦では、一度は0対2という不利な状況になりましたが、後半終了間際に同点に追い付き、試合は延長戦に突入しました。延長戦でも両者拮抗し決着がつかず、シュートアウト戦の末、2対1で見事優勝に輝きました。



結成10年目にして、日本一になりました

大会結果 (Echizen HOMES₂は以下「EH」と表記)

- 男子決勝トーナメント
- 2回戦 朝日 4-1 篠山ジュニア (兵庫県)
 - 糸生・常磐 1-3 広島 (広島県)
 - E H 1-2 大谷 (富山県)
 - 準々決勝 朝日 1-1 広島 (広島県)
(SO 1-2)
- 女子決勝トーナメント
- 1回戦 朝日 3-0 久保・一方井・川口 (岩手県)
 - 糸生 0-2 築館一迫 (宮城県)
 - 準々決勝 朝日 1-1 川西 (山形県)
 - 延長 0-1 築館一迫 (宮城県)
 - E H 0-0 延長 1-0
 - 準決勝 E H 2-0 川西 (山形県)
 - 決勝 E H 2-2 春照 (滋賀県)
 - 延長 0-0
(SO 2-1)